

令和元年度第2回富山県中小企業の振興と人材の育成等に関する県民会議
(要旨)

日 時：令和2年2月21日(金) 10:00~11:30

場 所：富山県民会館 701号室

説明事項：(1) 令和2年度 富山県中小企業振興施策(予算)について
(2) 国の中小企業振興施策等について
(中部経済産業局、富山労働局)

委員からの主な意見

- ・ 施策に関しては、業界毎に使ってもらいたいものをグループ分けしてPRすれば良いのではないかと
- ・ 施策の中には額の大きなものもあるが、これらがどういう形で最終的に中小企業の振興と人材育成に役立っているか、また進捗について誰がどういう形でどう評価しているのか、PDCAが回っているのかが気になる点である
- ・ 品質を上げるには自分たちが現在持っている知識だけでは不十分なので、どうしても外部からのコンサルティングが必要になってくる。このため、コンサルティングに対する補助金の設定やコンサルタントを紹介する制度を考えた方が良いのではないかと
- ・ 伝統産業は重要な産業であるが、職人の育成には時間がかかるので、育成への補助も検討してほしい
- ・ 人材育成は重要であるが、任せっぱなしではなくて、成果が出ているかどうかチェックする仕組みが必要
- ・ 後継者のいない企業と創業希望の若者のマッチングをやっていきたいので、協力いただきたい
- ・ コロナウイルスの影響がこれから拡大してくるのではないかと予測しているので、金融機関としっかり連携して対応していきたい
- ・ 大変多方面に事業展開されているが、せっかく政策が練られているので、行政ではなく各業界団体が業種ごとに該当企業にPRすると良いのではないかと。また、技術者を育てるための指導者の養成が必要である
- ・ 中小企業の発展に対する大学の使命は、優秀な人材を育成し供給していくこと、知識や技術を提供することだと考えている。また、リカレント教育にもつながるデータサイエンス分野の教育を準備していきたい
- ・ 県の予算はメリハリがあり、富山の特色を伸ばしたら良いのではないかと。このように力点を置かれていると思う。働き方改革やコロナウイルスをはじめとして環境として厳しいため、行政には直接困っている人に丁寧に対応していただきたい。また、これまでインターンシップが人材育成に重要な役割を

果たしてきたと思うが、ここ最近その期間が短くなってきているため、もう少し長い期間のインターンシップを普及させてもらいたい

- ・就職氷河期世代支援事業については重要だと思う。ただ、キャリア形成のためのキャリア教育であったり、キャリア訓練のようなものをセットにしていけないと、おそらく就職氷河期世代というのは救えないだろう。非常にきめ細やかで多様な施策があるが、その個別の施策の中のきめ細やかさのようなものを、これを必要な方々に分かりやすい形で示していただきたい
- ・伝統工芸、薬、ヘルスケア等について、産学連携を行っていきたい